

第4 地 域 創 生

第４ 地 域 創 生

地域創生部は、市町村と連携して過疎地域や特色ある地域づくりを支援するとともに、「ぐんま暮らし」のブランド化による移住促進や、県外に在住しながらも継続的に県内地域との関わりを持つ関係人口の創出を図るための各種施策を行った。また、芸術文化・スポーツの振興により、魅力と活力のある地域づくりを推進するための各種施策を行った。

令和７年度は、新・総合計画（基本計画）のビジョン実現に向けて、次の重点施策に積極的に取り組んだ。

【令和７年度の重点施策及び主な取組】

１ 県民総活躍社会の実現

（１）多文化共生・共創

- ・外国人県民のコミュニケーション支援
- ・外国人県民が安心して暮らせる環境を創るための生活支援
- ・ぐんまを創る「仲間」である外国人県民とともに新たな価値を創造していくことを推進

（２）移住者や関係人口を構成する人々の活躍

- ・ぐんま暮らしのブランド化による移住促進・関係人口創出

２ 官民共創コミュニティの育成

（１）地域課題解決

- ・住民主体の地域活動（地域運営組織、地域づくり団体等）の促進
- ・地域おこし協力隊の起業・継業や特定地域づくり事業協同組合の設立を支援

（２）スポーツによる地域創生

- ・県内のプロスポーツチームの魅力発信や活動サポート、プロスポーツを核としたスポーツの成長産業化
- ・アウトドアスポーツを活用した交流人口増大
- ・群馬県スポーツ選手の活躍による、県民の感動・誇りの醸成

（３）文化による地域創生

- ・新しい文化価値の創造
- ・アートを活用した地域振興
- ・歴史文化遺産の保存・活用

1 地域創生費

(1) 総務調整費

決算額 13,002 千円

部内予算の適正、効率的な執行を図るため、部内共通経費や年度途中に機動的な対応が必要となった経費等に支出した。

区 分	内 容	金 額
主管課運営費	部内共通経費等	2,271 千円
部局調整費	県立 5 館におけるキャッシュレス決済手数料等	10,488
指定管理	指定管理者評価委員会	243

(2) 社会参加費

決算額 151 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聴いて県政に反映し、また、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等の支出を行った（執行所属数：3 課 4 所）。

(3) 文化スポーツ施設等特別維持整備費

決算額 41,190 千円

地域創生部所管の県有施設で緊急に必要となる補修工事等に機動的、弾力的に対応した。

修繕費	役務費	委託料	工事費	備品費	合 計
21,739 千円	1,213 千円	1,391 千円	13,420 千円	3,427 千円	41,190 千円

(4) 地域政策推進

決算額 66,294 千円

① 地域づくりネットワーク推進

県内約 110 の地域づくり団体と県・市町村で構成する「群馬県地域づくり協議会」の運営を通じて、研修会や講演会の開催、優良団体の表彰、情報発信等を行い、構成団体の取組の活性化と構成団体同士の連携の強化を図った。

② 群馬県版図柄入りナンバープレートの導入

令和 5 年 10 月からぐんまちゃんデザインの群馬県版図柄入りナンバープレートの交付開始。動画や SNS 等を活用し広く県民への普及促進を図った。

③ 県民会館維持管理

令和 7 年 6 月に廃止された旧県民会館について、保守管理を実施した。

④ 県民会館エリア利活用

新たな文化拠点整備に向けた基礎調査を実施し、報告書を取りまとめた。

(5) 地域調整費

振興局等において地域の政策課題に機動的かつ柔軟に対応するため、地域調整費を活用し、地域の振興及び活性化を図った。

① 地域振興調整費（地域振興事業）

決算額 47,667 千円

振興局長のマネジメントにより地域の振興及び活性化、地域の課題解決、将来に向

けた芽出しのための事業に機動的、弾力的に対応したほか、県政への住民参加等の各種事業を実施した。

・主な活用事例

事業名	事業概要	事業費
ぐんまのまんなかセンパイ移住者を巡るバスツアー（中部振興局）	前橋市・伊勢崎市・玉村町の3市町を巡る移住希望者を対象としたバスツアーを新たに開催。	646千円
榛東村・吉岡町合同企画イベント（北群馬渋川振興局）	榛東村と吉岡町が地域の福祉事業所による出店・販売会を行うマルシェイベントを合同開催。	500
市職員が架け橋に！移住者と地域をつなぐ職員養成プロジェクト（高崎安中振興局）	安中市において移住者と地域との交流を促進するため、市職員のファシリテーター能力の向上を図る研修を開催。	490
かな・かぶら∞ぐるぶらの旅 みちえきマルシェ@ららん藤岡（多野藤岡振興局）	多野藤岡・甘楽富岡地域の8つの道の駅が一堂に会して特産品販売や観光PR等を行う「道の駅フェア」を開催。	1,018
富岡製糸場における地域活性化イベント（甘楽富岡振興局）	人気カードゲーム「蟲神器（むしじんぎ）」の人気投票で「カイコ」が1位を獲得したことを受け、富岡製糸場とタイアップし体験会や大会を開催。	472
吾妻地域におけるLINEを活用した広域情報発信（吾妻振興局）	LINEを活用し、群馬県吾妻郡6町村の観光施設やイベント等の観光情報を発信するとともに、これら観光地の広域周遊を促すスタンプラリーを開催。	1,154
サンドアート教室及びサンドアート作品の発表会を含むイベント開催（利根沼田振興局）	参加者の郷土愛を高めるため、地域の文化や歴史をテーマに盛り込んだサンドアート教室を開催。	500
SNSを活用した情報発信（東部振興局）	関東学園大学の学生を情報収集員（太田キラリ発見girls）に任命し、太田・邑楽館林地域の店舗やイベントをPR。	288
みどり市・まち歩きフォト講座 Ver.2.0（桐生みどり振興局）	市民の繋がりを作ることを目的とし、店舗を運営する方々へインタビューと写真撮影を行い、魅力ぴと紹介マップを作成。	467

- ② 地域公共事業調整費 決算額 251,008千円
 複数分野に関わる基盤整備、地域総合行政に資する公共事業を実施した。

・主な活用事例

事業名	事業概要	事業費
上毛新聞敷島球場内野スタンド防水工事（中部振興局）	内野スタンド 1 階にある各諸室への雨漏りによりカーペットのカビ発生等が顕在化しているため、防水工事を行った。	3,000 千円
伊香保温泉街の歩道拡幅・休憩施設整備（北群馬渋川振興局）	歩道内にある植樹帯の一部を休憩施設に再構築し、歩道の拡幅と休憩施設の整備を行った。	7,150
交通安全対策、景観整備（高崎安中振興局）	ニューイヤー駅伝の開催に伴い、高崎市内において舗装修繕や区画線の整備、ゴミ拾いなどの景観整備を実施した。	2,500
桜山森林公園第 2 の広場トイレ改修工事（多野藤岡振興局）	トイレの屋根が傷んでいたため、改修工事を実施した。	4,895
下仁田町公衆トイレの敷地フェンス、案内看板設置（甘楽富岡振興局）	公衆トイレの安全性と利便性を向上させるため、トイレ周辺のフェンスとトイレの案内看板を設置した。	3,000
四万川ダム公園遊歩道補修（吾妻振興局）	公園遊歩道が劣化により凹凸が発生しているため、舗装補修を行った。	2,000
水上片品線の伐木（利根沼田振興局）	尾瀬への重要な観光ルートで、枝葉が張り出し、見通しが悪くなっている箇所での伐木を実施した。	2,695
環境用水の整備（東部振興局）	ほ場整備地区において、既存排水路に家庭用雑排水を希釈するための環境用水を流す分水施設（水門ゲート）等を整備した。	15,000
桐生田沼線電線共同溝事業フットライト増設（桐生みどり振興局）	「桐生新町重要伝統的建造物群保存地区」において、（主要地方道）桐生田沼線の電線共同溝事業に併せて歩道フットライトを増設した。	2,000

（6）過疎地域持続的発展支援

決算額

3,954 千円

過疎集落の住民が主体となって実施する集落の維持・活性化への取組を支援した。

区 分	内 容	事業費
過疎地域いきいき集落づくり支援事業補助	・地域の主要観光地でのアカペライベントの開催 参加者数 218 組 1,300 名 ・恐竜と地元特産品を活用したランニングイベントの開催と持続可能なイベント運営のための人材育成研修事業 参加者数 42 名（イベント 32 名、研修 10 名） など計 8 件	3,301 千円

（７）山村振興対策

決算額

654 千円

過疎・山村地域の振興及び活性化を図るため、県・市町村間で共通認識を醸成するとともに、各市町村における今後の施策や事業への反映を目的に、市町村担当者向け講演会を実施した。

開催期日	内容	参加者
令和 8 年 3 月 6 日	「地域のあり方を問う～縮充社会の地域づくり～」を演題として、人口減少する中でも地域や生活の充実を追求する「縮充」をキーワードとした地域づくりに関する講演会を行った。	市町村過疎・山村振興担当課、県行政県税事務所、県内地域づくり団体等 計 84 名

（８）地域おこし協力隊の活動・定住支援

決算額

3,456 千円

市町村の制度導入や隊員の活動・定住を支援するため、各種研修等を実施したほか、市町村職員及び隊員を対象に、専門知識や技能を有する者を派遣し、助言や指導を行う「アドバイザー派遣」を実施した。また、地域おこし協力隊ポータルサイト「ツナグンマ」により、隊員の募集情報や活動情報等を発信した。

・令和 7 年度地域おこし協力隊導入実績（令和 7 年 4 月 1 日時点）

区 分	実 績
導 入 市 町 村	20 市町村（前橋市、桐生市、伊勢崎市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、上野村、下仁田町、南牧村、甘楽町、中之条町、嬭恋村、高山村、東吾妻町、川場村、みなかみ町、玉村町）
隊 員 数	116 人

・地域おこし協力隊活動・定住支援実施実績

区 分	開催期日	開催場所	参加者数
市町村担当職員向け研修会	令和 7 年 4 月 23 日	オンライン	市町村職員 24 人 県職員 3 人 その他 5 人 計 32 人

区 分	開催期日	開催場所	参加者数
隊員向けキックオフ 研修会	令和 7 年 6 月 19 日 ～20 日	桐生市	隊員 17 人 県職員 3 人 その他 6 人 計 26 人
基 礎 研 修 会	令和 7 年 8 月 4 日	県庁	隊員 17 人 市町村職員 13 人 県職員 4 人 その他 4 人 計 38 人
第 1 回スキルアップ セミナー	令和 7 年 10 月 17 日	県庁	隊員 17 人 市町村職員 16 人 県職員 4 人 その他 10 人 計 47 人
第 2 回スキルアップ セミナー	令和 7 年 11 月 21 日	県庁	隊員 18 人 市町村職員 7 人 県職員 7 人 その他 10 人 計 42 人
交 流 研 修 会	令和 7 年 12 月 15 日 ～16 日	県庁	隊員 22 人 市町村職員 6 人 県職員 11 人 その他 14 人 計 53 人
アドバイザー派遣	令和 7 年 8 月 22 日 ～令和 8 年 1 月 21 日 計 5 回	桐生市、渋川市 (2 回)、玉村町、嬭 恋村	隊員ほか延べ 174 人

(9)地域連携強化

決算額

31,206 千円

① 地域支援員設置

4 つの振興局に地域支援員（地域創生課員）を配置し、地域未来交付金（旧：新しい地方経済・生活環境創生交付金）について、市町村の交付申請を伴走支援したほか、市町村等による地域課題解決の取組等の支援を行った。

・新しい地方経済・生活環境創生交付金（市町村分）実績

区 分	実 績
第 2 世代交付金（市町村分）	21 市町村 48 事業 1,024,035 千円
デジタル実装型（市町村分）	23 市町村 38 事業 514,585 千円

- ・市町村等による地域課題解決の取組等の支援実績

区 分	実 績
地域課題解決の取組等の支援	35 市町村 432 件

② 振興局が主体的に実施する事業の推進

市町村と連携し地域課題解決に向け、地域活性化に資する事業を実施した。

- ・ハローたのふじぐらし促進事業（多野藤岡振興局）
- ・とねぬまた旬トリップ（利根沼田振興局）

③ 群馬県未来構想フォーラム

県の未来構想の理解促進を図るため、未来構想や地域の課題等に関する意見交換を行った。

地域	参加者	WEB 配信視聴者	ディスカッションのテーマ
高崎	750 人	31,245 人	「デジタル・クリエイティブ産業」の可能性について
県庁	59	38,026	ぐんま発！日本の温泉文化をユネスコ無形文化遺産へ！
渋川	1,000	30,475	ぐんま・県土整備プラン 2025 に掲げる未来につながる社会資本整備
太田	950	30,005	こども・子育て施策（こどもまんなか施策）

(10) 土地利用対策

決算額

27,787 千円

① 土地利用基本計画等の管理運営

県土の適切かつ合理的な利用を確保するために、国土利用計画法第 9 条の規定による「群馬県土地利用基本計画」に基づき、土地利用の総合調整等を行った。

令和 7 年度は、10 件の「計画図」の変更を行った。

② 届出・勧告制度の運用

県内における一定規模以上の土地取引について、国土利用計画法第 23 条の規定に基づいて届出を受け、利用目的を審査し、適切な土地利用の推進を図った。

＜届出処理状況＞ 令和 7 年（1 月 1 日～12 月 31 日までの集計）

区 分	受理件数	処理件数				
		勧 告	助 言	不勧告	取下げ	計
届 出	456 件		2 件	454 件		456 件

③ 地価調査

国土利用計画法施行令第 9 条の規定に基づき、7 月 1 日を基準日とする基準地の鑑定評価を公益社団法人群馬県不動産鑑定士協会に委託して実施し、宅地 365 地点及び林地 6 地点の標準価格を公表し、適正な地価情報の提供に努めた。

④ 大規模土地開発事業対策

群馬県大規模土地開発事業の規制等に関する条例に基づき 5 ha 以上の民間大規模土地開発事業に対して、必要な指導を行い、県土の保全と秩序ある開発に努めた。

(11)水資源対策

決算額

14,132 千円

① 水資源の総合調整

国土交通省の依頼に基づき、全国水需給動態調査を実施した。

② 水資源の確保対策

水資源を将来にわたり安定的に確保するため、水資源開発施設の利用調整に努めるとともに、（独）水資源機構等に対して施設の管理費を負担した。

③ 健全な水循環の啓発

利根川上流の群馬県と下流の東京都とで行う利根川水系上下流交流事業では、東京都と共同して水の大切さ及びダムの役割を啓発するとともに、水源地域の情報発信を広く行った。

(12)発電施設周辺整備

決算額

227,912 千円

発電施設周辺地域住民の福祉の向上等を図るため、電源立地地域対策交付金交付規則に基づき、対象市町村（17 市町村）の公共施設運営・整備等に対し交付金を交付した。

区 分	内 容	事業数	交 付 金
道 路 関 連	舗装維持修繕等	12 件	47,673 千円
福 祉 関 連	保育所等運営	7	150,118
教 育 関 連	教育環境整備等	2	2,900
地 域 振 興	地域共用物品購入等	9	26,278
計		30	226,969

2 ぐんま暮らし・外国人活躍推進費

(1)ぐんま暮らしブランド化推進

決算額

68,341 千円

東京都千代田区に開設している「ぐんま暮らし支援センター」で専属相談員が移住・就職の相談に応じるとともに、市町村と連携した移住相談会や、群馬県に関心を持つきっかけづくりとして、幅広いテーマでの移住セミナーを開催した。

また、移住希望者と地域をつなげる移住コーディネーターのほか、移住の現場できめ細かな支援を行う人材を育成するため、「地域の顔育成研修」等を実施した。

なお、公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構が発表した「2025 年移住希望地ランキング」において、「窓口相談」、「セミナー参加者」の両部門で 2 年連続 1 位となった。

・移住相談実績

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度
相談件数	7,684 件	10,013 件

（注）ぐんま暮らし支援センター、移住相談会、県庁等で受けた相談の合計数

・移住相談会及び移住セミナーの開催実績

区 分	実施回数	延べ参加者数
ぐんま移住&交流フェア 2025（群馬県主催の大規模相談会）	1 回	来場者 478 人 相談者 692
群馬県主催及び市町村や振興局等と連携した移住関連セミナー・相談会の開催	54	2,093
他県連携移住セミナー（福島県・茨城県・栃木県（2 回）・和歌山県・島根県それぞれとのコラボセミナー、福島県・栃木県・新潟県との 4 県合同セミナー）	7	283
大規模移住相談会等への出展（ふるさと回帰フェア、おいでや田舎暮らしフェア、テーマから探す！移住フェア 2025、JOIN 移住・交流&地域おこしフェア、新・農業人フェア、地方就職・移住応援フェア）	6	192

・出張移住相談会の開催実績

区 分	実施回数	延べ相談件数
県内道の駅等での出張相談会（川場田園プラザ、ららん藤岡、こんにゃくパーク、赤城高原 S A ほか）	49 回	2,056 件
県外施設での出張相談会（ふるさと交流ショップ台東、羽田空港ほか）	6	225

・地域の顔育成研修開催実績

区 分	参加実績	主 な 内 容
第 1 回研修	51 人	全国の移住相談の動向、移住相談の心構え、県内事例・取組紹介、意見交換会
第 2 回研修	43	群馬県推進事業の説明、県内事例・取組紹介、意見交換会

（２）ぐんまでテレワーク推進プロジェクト

決算額

6,325 千円

都心から 100km という恵まれた立地や豊かな自然や温泉、全国有数の農畜産物、自然災害が比較的少ないなど、群馬県の強みや魅力を生かし、首都圏の移住希望者や子育て世帯の移住検討者層等に向けて「転職なき」移住促進や関係人口の創出・拡大に取り組んだ。

① 親子でテレワーク移住体験推進

市町村と連携し、市町村が実施する「保育園留学」（親はテレワークで働きながら、子どもは保育園の一時預かり制度を活用して通園し、親子で地域の魅力を体験できる事業）の立ち上げを支援した。

② テレワーク情報サイトの拡充

群馬県移住ポータルサイト「ぐんまな日々」内のテレワーク情報サイトにおいて、関係人口の受け皿となる県内 15 地域のキーパーソンを特集した記事を掲載し、関係人口の創出・拡大につながる情報を発信した。

(3)群馬県移住支援金

決算額

276,249 千円

東京一極集中の是正と地方の担い手不足解消のため、東京 23 区の在住者・在勤者が移住して就業・起業する場合や、テレワーク移住、関係人口からの移住を対象に、最大 100 万円を支給する事業を市町村と連携して実施した。

区 分	支給件数	支 給 金 額
就 職	16 件	計 368,200 千円 (うち国県補助分 276,150 千円)
起 業	2	
テ レ ワ ー ク	176	
関 係 人 口	109	
計	303	

(4)外国人活躍推進

決算額

13,046 千円

労働力不足が深刻化し、国内外で外国人材獲得の国際競争が激化する中、県内で働く外国人が活躍できる環境づくりを促進した。

区 分	事業説明	実 績
群馬県多文化 共創カンパニー 認証制度	多文化共創を実践するロールモデルとして ふさわしい事業者を認証し、その取組につ いてシンポジウムやSNSを通じ、国内外 へ情報を発信	申請 12 件 認証事業者 3 社 情報発信 33 本
外国人材活躍 推進ネットワー ク構築	群馬県の認知度向上や人材確保に向けて、 大使館等の関係機関と連携し、ベトナム等 ASEAN 諸国の現地大学等と関係を構築	訪問 2 か国 計 22 大学等 学生 700 名超
外国人材受入れ 相談会	外国人材の雇用を検討している事業者に対 象に専門家（行政書士）による相談会を開 催	実施 9 回 参加企業 26 社
外国人材発掘 支援	海外在住の大学生等や外国人留学生等を対 象とした合同企業説明会をオンライン・対 面で開催し、さらにインドネシアオンライ ンジョブフェアを開催	【オンライン】 参加企業 10 社 参加者 5 セッション 延べ 205 人 【対面】 参加企業 8 社 参加者 40 人 【ジョブフェア】 参加企業 10 社 参加者 3 セッション 延べ 986 人

区 分	事業説明	実 績
多文化共創 担い手育成	県内に住む外国ルーツの高校生のキャリア形成を支援するため、インターンシップ・活動報告会を実施	【第一期】 受入企業 3 社 参加生徒 20 名 【第二期】 受入企業 2 社 参加生徒 13 名
外国人県民向け 情報発信	多言語 LINE アカウントを活用した外国人県民向け情報発信事業を実施し、県や関係機関から有益情報を発信	登録企業 130 社 登録者 1,267 名

(5) 多文化共生支援

決算額

38,388 千円

外国人県民は、地域経済及び地域の活力をともに創る「仲間」であるとの考えを踏まえ、「群馬県多文化共生・共創推進条例」（令和3年4月施行）及び「群馬県多文化共生・共創推進基本計画」（令和4年4月施行）に基づき、市町村や関係機関と連携し、多文化共生・共創社会の実現に向けた取組を行った。

① 安心して暮らし続けられる環境の整備

ア 「やさしい日本語」の普及

あいまいな表現を避け、わかりやすく伝えることに重点を置いた「やさしい日本語」に対する理解を深め、普及させるため、教材を作成するとともに研修会を実施した。

区 分	実 績
群馬大学医学部生向け講座	122 人
教職員向け講座	4 校
企業団体向け講座	6 団体

イ ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター運営

生活者としての外国人県民が、生活全般に関する適切な情報に速やかに到達できるよう、多言語で情報提供を行い、生活全般に関する相談のほか、法律相談にも応じる窓口を運営した。

対 応 言 語	相談件数
英語、ポルトガル語、ベトナム語、中国語、スペイン語、ネパール語	1,325 件

ウ 地域日本語教育体制整備

外国人県民が日本語を学習できる環境を充実させるため、群馬県における日本語教育の総合的な体制づくりを推進した。

区 分	実 績
総合調整会議	開催回数 3 回
日本語学習支援ボランティア養成講座	開催回数 2 回、参加者数 20 人 (県庁、オンライン)

区 分	実 績
外国人日本語学習支援ボランティア養成講座	開催回数 11 回、参加者数 14 人 (うち修了者 6 名) (伊勢崎市)
地域日本語教室ミーティング	開催回数 2 回、参加者数 39 人 (県庁)
日本語学習支援スキルアップ研修	研修 2 回、講演会 1 回、参加者数 163 人
地域日本語教室巡回	巡回 1 か所 (沼田市)
トライアルオンライン日本語教室	開催回数 4 回、参加者数延べ 19 人 (千代田町)
日本語教育実施機関・団体等への補助	補助団体数 10 団体 (県補助 2,407 千円) (前橋市、沼田市、大泉町、太田市、昭和村、高崎市国際交流協会、伊勢崎市国際交流協会、館林市国際交流協会、安中市国際交流協会、嬭恋村国際交流協会)

エ 災害時外国人支援

災害時に外国人県民に対して正確な情報提供を行うための「災害時外国人支援ボランティア」の養成及び外国人住民を対象とした「防災訓練（避難所体験等）」を市町村と連携して実施した。

区 分	参 加 者 数
災害時外国人支援ボランティア養成講座	外国人支援ボランティア 14 人
外国人住民のための防災訓練 (みどり市)	外国人支援ボランティア 7 人 外国人住民 11 人

オ 医療通訳ボランティアの養成・派遣

外国人県民が医療機関等で受診する際に必要とする通訳（ボランティア）を協定医療機関等からの要請により派遣した。

区 分	実 績
医療通訳ボランティア登録者	13 言語・延べ 104 人
医療通訳ボランティアの派遣	205 件

② 誰一人取り残さない「多文化共生・共創社会」の実現に向けた取組

ア 多文化共生推進協議会への参画・連携

外国人住民が多い 7 県 1 市（群馬県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、名古屋市）で構成する「多文化共生推進協議会」に参画し、関係省庁への政策提言を実施した。

イ 多文化共生・共創推進月間（10 月）

県民の「多文化共生・共創社会」への関心を深めるため、多文化共生イベントの開催や映画館広告の放映を実施した。

区 分	実 績
多文化共生イベント「からっかぜパーク」	来場者数 1,850 人

区 分	実 績
映 画 館 広 告	上映場所 2 か所 上映期間 9 月下旬～10 月上旬 動員数 124,007 人

3 文化振興費

(1)文化づくり推進

決算額 64,243 千円

- ① 多様な文化芸術活動や地域の伝統文化継承活動等を推進するために設置している群馬県文化振興基金を活用し、個性豊かな地域づくりにつながる県民の自主的・主体的な文化活動を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
文 化 づ く り 支 援	・「ぐんまスタイル」の創造につながる多様で創造性豊かな文化活動や事業（9 件）に対して支援	千円 6,781

- ② 群馬県の文化的風土の象徴である「上毛かるた」を活用し、県民の郷土愛や群馬の歴史や文化に対する誇りを育むため、上毛かるた及び関連書籍の発行・販売を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
上 毛 か る た 活 用	・上毛かるた発行 14,000 部、販売 9,563 部 ・副読本「『上毛かるた』で見つける群馬のすがた」、ガイドマップ「『上毛かるた』ゆかりの地 文化めぐり」、英語版上毛かるたの販売の継続 ・上毛かるたの利用許諾 208 件	千円 10,124

- ③ 「上毛かるた」を通じて、郷土文化への「誇り」と「愛」を醸成するため、「上毛かるたプロジェクト」として4つの事業を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
上 毛 か る た プ ロ ジ ェ ク ト	・「100 万円分の夢を叶えます」プロジェクト（県大会の団体戦優勝チームの、「学校でみんなが使える、みんなのためになる」ような夢を実現） ・上毛かるた親子大会（すべての小学生と保護者が参加できる大会として、県内 9 か所で開催） ・「子どもかるたコミュニティ」モデル事業（地域のボランティア等の支援のもと、児童がかるたで遊ぶ機会を提供。玉村町の南児童館で実施、小学生 27 名が参加。） ・子どもたちの「上毛かるた」体験の拡充（放課後児童クラブ 538 か所へかるたを配布）	千円 2,858

- ④ 「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、関係機関と連携しながら国内における機運醸成を図るとともに、知事の会の参画都道府県と連携した調査研究事業、要望活動等を実施した。その結果、令和 7 年 11 月に国内候補に決定し、令和 8 年 3 月に国からユネスコへ提案書が提出された。

区 分	事 業 内 容	事業費
温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録推進	・「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産登録を応援する知事の会の運営（令和 7 年度末時点で全 47 都道府県が参画）及び参画都道府県と連携した調査研究の実施 ・民間企業や団体と連携した調査研究事業、機運醸成事業の実施（計 5 件） ・研究者や有識者の視点から「温泉文化」の文化的価値や魅力を語る「温泉文化フォーラム」の開催	千円 18,667

（２）埴輪王国ぐんまの推進

決算額

4,051 千円

群馬県出土の埴輪が質・量ともに日本一であるという点に着目し、「埴輪王国ぐんま」の魅力を発信・定着させ、観光・地域振興や群馬県のイメージアップを図るため、周知事業を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
埴輪、古墳の価値や魅力の発信	・群馬県の歴史文化遺産の価値を再認識してもらうとともに、イメージアップを図るため、埴輪や古墳を紹介する動画の発信や、埴輪や古墳について楽しく学べる「H A N I ーアプリ」の運営などを実施 ・東国文化関連動画再生回数（累計）：96,091 回 ・「H A N I ーアプリ」ダウンロード数（累計）：33,996 件	千円 2,124
東国文化副読本の活用	・自由研究の募集等により学校現場や家庭における副読本の活用を推進	297
「世界の記憶」上野三碑周知	・金井沢碑建立 1300 年を記念した記念式典とシンポジウムを実施 ・上野三碑の価値や魅力を広く県民に知ってもらうための周知活動を実施	1,630

（３）文化施設整備推進

決算額

351,360 千円

- ① 経年劣化に伴う補修・修繕が必要となった文化振興課所管の施設・機器等について、優先度に応じて計画的に修繕を行った。

区 分	事業内容	事業費
工 事 費	近代美術館照明 LED 化更新工事（R8 年度に繰越）	660,000 千円

- ② 県立文化施設の収蔵品をデジタルアーカイブ化し、「群馬デジタルミュージアム」として県内各地での MR ゴーグルを用いた MR コンテンツの展示に活用した。

会 場	実施期間	観覧者数	事業費
スマーク伊勢崎	令和 7 年 12 月 6 日～12 月 28 日の土曜日及び日曜日（8 日間）	人 2,225	千円 34,650
前橋中央通り商店街	令和 8 年 1 月 10 日～1 月 12 日（3 日間）	490	
群馬県立歴史博物館	令和 8 年 1 月 17 日～2 月 1 日の土曜日及び日曜日（4 日間）	1,133	
道の駅まえばし赤城	令和 8 年 2 月 22 日～23 日（2 日間）	316	
計	17 日間	4,164	

（４）県立文化施設管理 決算額 28,983 千円

文化振興課所管の一部県立文化施設について、県民が安全かつ良好に使用できるよう指定管理者による管理運営を行った。

区 分	指定管理者	事業費用協定額	利用件数	利用者数
群 馬 県 立 自 然 史 博 物 館 附 帯 ホール (かぶら文化ホール)	富岡市	千円/年 21,723	件 142	人 35,725

（５）文化団体等育成 決算額 24,354 千円

教育・芸術文化団体を支援することで、県民の豊かな情操と教養のかん養及び文化団体の育成と地域に根ざした自主的な文化活動の振興を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
芸 術 文 化 関 係 団 体 助 成	県民が様々な芸術文化活動に触れる機会を提供するため、芸術文化団体を支援	千円 24,354

（６）芸術文化事業推進 決算額 365,896 千円

- ① （公財）群馬交響楽団を支援することにより、県民が本物の芸術文化に触れる機会や子どもたちが生のオーケストラ演奏に触れる機会を提供し、群馬県文化の向上と普及・振興を図った。

区 分	事 業 内 容	入場者等	事業費
群馬交響楽団 支 援	定期・特別演奏会、音楽教室、楽器セミナー等を実施している群馬交響楽団の運営費等の経費の一部を支援	人 144,921 (うち定期演奏会 入場者数 14,797人)	千円 320,517

- ② 全国初の取組である「群馬パーセントフォーアート」推進条例に基づき、県予算の一定割合をアート振興施策に支出するとともに、群馬モデル創出に向けた各種事業を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
群馬パーセント フォーアート推 進(アーティス ティック GUNMA)	・建替え工事中の「群馬県立敷島公園新水泳場」建設現場の仮囲いをキャンパスに見立て、デザイン・アート作品を募集するコンテストを開催。 ・「空想」を軸として、各分野で活躍する有識者等と議論する『群馬パーセントフォーアート「空想」フォーラム』等を実施。	千円 33,352

(7)教育文化事業団運営

決算額 175,912 千円

- ① 文化振興事業等を実施している(公財)群馬県教育文化事業団の運営費を助成した。
- ② 県民の文化芸術への創造的活動を助長し、地域の特色ある多様な文化芸術を充実・発展させることにより、個性豊かで創造性に富むぐんまの文化の振興を図るため、県民芸術祭を同事業団に委託して実施した。

・県民芸術祭概要

区 分	事 業 内 容	入場者数	事業費
県 文 学 賞	短歌、俳句、詩、評論、随筆、児童文学の6部門を選奨(小説は該当なし)	人 78	千円 1,959
県 展	美術展、書道展、写真展、華道展、大茶会を開催	20,327	2,766
山 崎 種 二 記 念 特 別 賞	県展出品作品から山崎種二記念特別賞(美術、書道、写真部門各1点)を授与		1,157
県民音楽のひろば	県内の各文化施設(6会場)で群馬交響楽団による演奏会を開催	3,981	15,044
群 響 企 画 コ ン サ ー ト	森とオーケストラ(群馬の森)を開催	8,300	5,706
新人演奏家発掘・ 支 援 事 業	公開オーディション合格者によるクラシック音楽に気軽に触れられる演奏会を開催	714	527

区 分	事 業 内 容	入場者数	事業費
子 ど も ワ ー ク シ ョ ッ プ 「はじめての文化・ 芸術ふれあい教室」 vol. 10	子どもたちを対象に美術（コラージュ 版画）、書道、写真、華道、茶道、オ ーケストラ楽器、人形芝居の楽しさを 体験し、鑑賞する機会を提供	217 人	千円 1,206
メディア芸術推進	第 13 回 GUNMA マンガ・アニメフェス タ（優れた作品の公募・顕彰・展示と イベント）を開催	7,011	9,942
群馬県文化協会 連合会地域文化フェ スティバル	群馬県文化協会連合会 10 地域圏のう ち、前橋地域圏、桐生地域圏で地域文 化フェスティバルを開催	2,203	425
計		42,831	38,732

- ③ 失われつつある地域の伝統文化を次世代に継承している意欲ある団体を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
伝 統 文 化 継 承	・各地域に伝わる伝統芸能や祭り、行事等を継承 する活動（37 件）を支援 ・継承のための講習会等の開催や活動団体間の 連携推進を図るデータベースを整備	千円 10,534

- ④ 優れた文化芸術活動を行うアマチュア文化団体を学校等へ派遣し、子ども向けの講演
やワークショップ等を開催した。

区 分	事 業 内 容	事業費
はじめての文化体験	派遣団体：伊勢崎マジシャンクラブ等 12 団体 派遣先：学童クラブ等 27 か所	千円 997

（８）県立美術館・博物館運営

決算額 1,042,311 千円

県立美術館・博物館において、県民に優れた芸術・文化等の鑑賞の機会を提供する
ため、各種企画展を開催するとともに、ワークショップや体験学習等の教育普及事業
を一層充実させるなど、魅力ある美術館・博物館の運営に取り組んだ。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
近 代 美 術 館	・観覧者数 49,536 人 ・教育普及事業参加者 10,797 人 ・企画展「20 世紀イタリアの巨匠 マリノ・マリーニ ～版画作品を中心に～」など全 4 回開催 ・「こども＋おとな＋夏の美術館」等を開催	千円 227,757

区 分	事 業 内 容	事 業 費
館 林 美 術 館	・観覧者数 101,790 人 ・教育普及事業参加者 6,236 人 ・企画展「はしもとみお木彫展～いきものたちとの旅～」など全 4 回開催 ・学校との連携事業（職場体験、学校訪問、美術館見学）を実施 ・「みんなのアトリエ」「たてび☆キッズウォーク」等の開催	千円 188,811
歴 史 博 物 館	・観覧者数 62,944 人 ・教育普及事業参加者 54,769 人 ・企画展「伊勢神宮と群馬」など全 4 回開催 ・学校団体向け学習プログラム、ワークショップ等を実施	216,256
自 然 史 博 物 館	・観覧者数 204,380 人 ・教育普及事業参加者 49,746 人 ・企画展「ながいながい骨の旅」など全 4 回開催 ・インディアナポリス子ども博物館との相互交流を実施し、オンラインワークショップ「Digging Through Time～どうやって化石はできるの？～」等を開催 ・学校との連携事業（館内授業、職場体験）を実施	339,508
土屋文明記念 文 学 館	・観覧者数 11,299 人 ・教育普及事業参加者 29,631 人 ・企画展「百花繚乱！浮世絵×文学」など全 3 回開催 ・「短歌教室 歌人が学校に！」 ・講演会、講座等を開催	69,979

(9)世界遺産継承推進

決算額

319,701 千円

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を将来の世代に確実に引き継ぐとともに、世界遺産をはじめとする絹遺産の価値を多くの人に伝えることで、地域全体の遺産と絹文化を守り、それらを活用した地域づくり推進につながるよう、各種事業を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく減少した世界遺産の4つの構成遺産への来訪者数は、令和7年度は約41万人に回復した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
世 界 遺 産 継 承 推 進	・世界遺産トップ会議開催 知事と4市町長による、世界遺産の保存と活用に向けた意見交換を実施 ・世界遺産専門委員会開催 ・世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金 企業等からの寄附金を積立て、世界遺産・ぐんま絹遺産の継承に活用（令和7年度積立額 12,370 千円）	千円 13,458
世 界 遺 産 保 存 整 備	・4市町が行う世界遺産構成資産の保存修理に対し補助 (297,586 千円のうち令和6年度から令和7年度への繰越分 87,656 千円)	297,586
日本遺産・ぐんま 絹 遺 産 推 進	・ぐんま絹遺産登録（令和7年度末現在 106 件） ・ぐんま絹遺産保存活用推進（5市町村・2団体 3,233 千円） 市町村及び民間団体が行うぐんま絹遺産の普及啓発や保存修理に係る事業に対して補助	6,428
富岡製糸場を中核 とした文化観光 拠 点 計 画	・文化観光推進法に基づき、富岡市と共同で申請し、令和5年1月に国が計画認定 ・富岡製糸場の魅力や価値の磨き上げ等を通じて、3資産や県内シルク関連遺産、温泉地などの観光地への周遊促進（総事業費：2,229 千円） 国宝「西置繭所」企画展（会期：9/4～9/25、入場者数 17,670 人）	2,229

(10) 世界遺産センター運営

決算額

46,001 千円

世界遺産のガイダンス施設として構成4資産の価値や魅力を来館者に分かりやすく紹介するとともに、学識経験者や関係市町と連携して世界遺産や絹産業、絹文化の研究に取り組み、シンポジウムや研究紀要などを通じて総合的に情報発信した。

事 業 内 容	事 業 費
・観覧者数 38,654 人 ・教育普及事業参加者 6,763 人 ・トピックス展示「錦絵で見る絹文化」など全4回開催 ・セカイトキッズアカデミーを開催 ・開設5周年シンポジウム「日本生糸の世界生糸市場への参入はなぜ成功したのか」や研究会等を開催	千円 46,001

4 文化財保護費

(1) 文化財保存管理

決算額 104,203 千円

文化財の保護と活用を図るため、指定文化財の保存修理・設計監理・計画策定等や埋蔵文化財の発掘調査に対する事業費補助及び文化財パトロール等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
文化財保存事業費補助	・ 県指定文化財 15 件 ・ 埋蔵文化財発掘調査等 7 件 ・ 国指定文化財 9 件 ・ 防災設備保守点検等 7 件	千円 81,519
特 別 天 然 記 念 物 カ モ シ カ 食 害 調 査	・ 通常調査（三国山地） ・ 特別調査（関東山地） 群馬県・埼玉県・山梨県・長野県合同の調査（令和6年度～7年度の2か年）	20,253
文 化 財 パ ト ロ ー ル	文化財保護指導員 30 人（文化財の傷み具合や管理状況に係る報告：144 件）	1,975
高 山 蝶 パ ト ロ ー ル	・ 嬭恋村（ミヤマシロチョウほか）：14 人 ・ 渋川市（ヒメギフチョウ）：15 人	166
県 指 定 文 化 財 （ 建 造 物 ・ 民 俗 ） 管 理	県指定文化財の保存・管理・活用状況の実態調査：建造物 36 件、民俗 22 件	290

(2) 埋蔵文化財保護対策

決算額 5,621 千円

公共開発事業等が予定されている埋蔵文化財包蔵地について、事前に保護策策定のための試掘調査等を実施するとともに、県内の文化財情報を整備した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
公 共 開 発 関 連 埋 蔵 文 化 財 緊 急 調 査	国や県が行う道路建設などの事業地において埋蔵文化財の試掘調査を実施して発掘調査の必要性を判断した(33 件中 16 件で発掘調査が必要)。	千円 5,016
統 合 型 G I S 更 新	統合型GISシステム（マッピングぐんま）において、遺跡・指定等文化財の情報を公開し、年 4 回、最新情報に更新した（77 件）。	605

(3) 埋蔵文化財調査センター運営

決算額 48,566 千円

（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団に委託して考古資料等の保存と活用を行う埋蔵文化財調査センターを適正に管理運営するとともに、埋蔵文化財についての理解を深めるための普及事業を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
埋 蔵 文 化 財 調 査 セ ン タ ー 管 理 運 営	施設の維持管理を適切に行った。	千円 19,017

区 分	事 業 内 容	事 業 費
埋 蔵 文 化 財 調 査 セ ン タ ー 展 示 普 及	各種普及啓発事業を実施した。 ・発掘情報館来場者数 6,476 人 ・最新情報展参加者数 5,767 人 ・最新情報展関連講演会参加者 116 人 ・埋蔵文化財専門講座受講者数 43 人 ・夏休み親子宿題教室参加 1,523 人	千円 25,039
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー 発 掘 情 報 館 L E D 化	発掘情報館展示室照明を LED 化した。	4,510

(4) 偲ぶ毛の国群馬の魅力発掘・発信

決算額

24,600 千円

国指定文化財の保存管理と活用事業に対する補助、国指定史跡である観音山古墳と上野国分寺跡の管理・運営、「群馬県近世寺社総合調査」の成果等の発信を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
観 音 山 古 墳 保 護 管 理 運 営	・解説員 3 人で見学者への説明に対応した。 ・史跡地内除草等の維持管理業務委託 ・駐車場賃借	千円 5,023
上 野 国 分 寺 跡 保 護 管 理 運 営	・史跡地内除草等の維持管理業務委託 ・見学者のためのガイダンス施設運営。解説員 3 人で入館者への説明に対応した。 ・社会科見学や総合学習等での学校利用促進のため、史跡上野国分寺跡・史跡観音山古墳の見学案内チラシを作成し、学校及び学校教育関係会議で配布。 ・ガイダンス施設照明を LED 化した。	16,610
ぐ ん ま の 寺 社 魅 力 発 掘 ・ 発 信	・アプリの保守管理（年度末の累計 DL 数 4,305 件）	711
県 内 古 墳 の 理 解 促 進	・県内の古墳を紹介するショート動画の制作及び説明板の設置	2,256

5 スポーツ振興費

(1) スポーツ団体運営費助成

決算額

107,737 千円

群馬県のスポーツ振興のための各種事業活動が円滑に行われるよう、スポーツ振興施策を県と一体となって推進している(公財)群馬県スポーツ協会の運営に係る人件費を補助し、体制の整備を行った。

(2) 生涯スポーツ振興

決算額

10,743 千円

県民が身近な場所で継続的にスポーツに親しむことができるよう、市町村や(公財)群馬県スポーツ協会と連携してスポーツ団体の活動の支援を行うとともに、地道な活動により地域のスポーツ振興に功績のあった個人や団体を表彰した。

また、群馬県が有する優れた自然環境を活かした県境稜線トレイルの安全対策として「登山者への意識啓発」、「登山道の安全点検と情報提供」、「安全性向上のための施設整備」に取り組んだ。

(3) スポーツイベント等の開催・支援

決算額

45,026 千円

① ぐんまマラソン

昨年に引き続き温泉をテーマに大会を開催するとともに、ウェーブスタートの導入やかぶり水場の設置など、完走率向上のための取組を継続した。また、出走権付き宿泊プランやふるさと納税制度の活用にも取り組み、県内外から過去最高のエントリーを得た。参加者の健康増進を図るとともに、群馬県の魅力を発信する機会となった。

種 目	開催年月日	申込人数
フルマラソン	令和7年11月3日	6,530 人
10 km マラソン		5,110
リバーサイドジョギング		5,967
合 計		17,607

② 群馬県民スポーツ大会

広く県民の間にスポーツを普及振興するとともに、健康の保持増進、体力の向上及び生活の活性化を図るため、例年県民スポーツ大会を実施している。令和7年度は、夏季大会と秋季大会、冬季大会（スケート・スキー）を開催した。

(4) 全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝） 決算額

7,808 千円

新春の一大スポーツイベントであるニューイヤー駅伝を、主催者の日本実業団陸上競技連合、大会主管の群馬陸上競技協会等の関係機関と連携して実施した。

また、tsulunos の活用（メインスタジオ）や、視聴者プレゼント（県内宿泊券）の実施により、群馬県のPRを行い、イメージアップを推進した。

(5) プロスポーツ支援

決算額

1,276 千円

プロスポーツチーム等が連携し、より多くの人々が群馬県のスポーツチームを知る「きっかけ」を増やすことや、新しい「アイデア」・「つながり」の創出を目的として行う事業を補助し、県民のスポーツ観戦やスポーツの実施機会を創出するとともに、県民とプロスポーツチーム等との交流を通じて、プロスポーツの振興を図った。

事業内容	事業費
パブリックビューイング 3 事業	1,212 千円
スポーツ教室 6	
その他 1	

(6) 競技力向上

決算額

388,417 千円

① 群馬県のスポーツ振興の基本計画である「群馬県スポーツ推進計画」に基づき、競

技力の向上を図るために、(公財)群馬県スポーツ協会、41 競技団体、学校競技団体が実施する競技力向上対策事業に対し補助を行い、国民スポーツ大会やその他全国大会、国際大会において活躍できる競技者の育成を推進した。

・競技力向上対策事業補助

事業内容	事業費
スポーツ協会 1 団体	369,867 千円
競技団体対策 41	
高体連 31	
中体連 18	
スーパーキッズ事業 19 競技 274 人参加(4～6 年生)	
医科学データ活用 ラボ測定 241 人	
スポーツテック補助 28 競技団体で実施	
メディカルサポート事業 26 競技団体で実施	

・国民体育（スポーツ）大会成績

開催年	回数（大会開催県）	男女総合順位
令和 4 年	77 回冬季国体（栃木・秋田）	(12 位)
	77 回国民体育大会（栃木）	22
令和 5 年	特別国体冬季（青森・岩手）	(5)
	特別国体（鹿児島）	26
令和 6 年	78 回冬季国体（北海道・山形）	(8)
	78 回国民スポーツ大会（佐賀）	27
令和 7 年	79 回冬季国スポ（岡山・群馬、秋田）	(3)
	79 回国民スポーツ大会（滋賀）	35

②小学 3 年生向けの運動能力向上プログラム「ぐんまプレキッズ」事業について、前橋・藤岡・太田・沼田の 4 箇所を実施した。

事業内容	事業費
プレキッズ事業参加者	6,968 千円
前橋会場 52 人（株式会社ザスパ）	
前橋会場（4 年生） 66	
藤岡会場 80	
太田会場 80	
沼田会場 33	

③スポーツの振興と郷土意識の高揚に資することを目的として、世界選手権、全国大会等で顕著な成績を残した競技者に対し、群馬県スポーツ賞を贈った。

事業内容	事業費
令和 7 年度受賞者数	1,457 千円
○スポーツ栄誉賞 3 人	
○優秀選手賞 162	

④トップアスリートを雇用したい企業と、県内企業に就職したいアスリートのマッチ

ングを図り、競技力の向上と指導者層の確保を図った。

事業内容	
アスリート・ジョブサポートぐんまの設置	
企業数	33 社（令和 7 年度登録：8 社）
登録選手	21 人（令和 7 年度登録：8 人）
マッチング数	8 人（令和 7 年度マッチング：3 人）

⑤医・科学データ活用を競技団体に対して推進し、より一層の競技力向上を図った。

区 分	事業量	事業費
医科学アナリスト委託契約	アナリスト活用 1 名	8,500 千円
医科学サポート体制構築アドバイザー業務契約	医科学サポート体制に向けた調査 測定に関する支援 アナリスト主導體制の確立支援 測定マニュアルの作成	4,500
フィールド測定業務委託	1,115 人	4,000

(7)国スポ等参加推進

決算額

222,220 千円

群馬県の代表として国民スポーツ大会本大会や関東ブロック大会に参加した監督、選手に対して派遣費を補助し、群馬県代表選手の活躍を支援した。

区 分	事業内容	派遣人数
関東ブロック大会	第 79 回国民スポーツ大会関東ブロック大会 関東ブロック大会 群馬県 令和 7 年 5 月 24 日～12 月 14 日・32 競技	768 人
国民スポーツ大会	第 79 回国民スポーツ大会本大会 滋賀県 第 80 回国民スポーツ大会冬季大会 青森県（スケート） 青森県・秋田県（スキー）	370 55 49

(8)パラスポーツ推進

決算額

64,957 千円

① パラスポーツ普及推進

特別支援学校の児童生徒を対象に、国際大会で活躍するアスリート等との交流・体験事業を実施した。

区 分	事業量	参加者数	事業費
トップアスリート交流	8 か所	513 人	400 千円

② パラスポーツ競技力向上

ぐんまパラアスリート支援ワンストップセンターをスポーツ振興課に設置し、パラアスリートが抱える課題を解決して競技に専念できる環境づくりを支援するとともに、学校や企業・団体からのパラスポーツに関する相談（体験授業や講習会の開催等）にも対応した。またパラアスリート及び競技団体の活動費を補助した。

区 分	事 業 量	事 業 費
ぐんまパラアスリート支援ワンストップセンター	相談 16 件 満足度 100%	
ぐんまパラアスリート始動プロジェクト補助金	23 人	7,095 千円
競技団体活動経費補助	13 団体	2,341

③ 県障害者スポーツ大会運営委託

スポーツ大会を通じて障害者の社会参加を促進するとともに、学生・ボランティアなどに運営協力を求めるなど、参加者の相互理解の促進を図ることを目的として、県障害者スポーツ大会を開催した。

区 分	実施競技	参加者数	事 業 費
県障害者スポーツ大会運営委託	12 競技	1,064 人	5,947 千円

④ 全国障害者スポーツ大会への派遣

全国障害者スポーツ大会（個人競技）や関東ブロック予選会（団体競技）に群馬県選手団を派遣した。

区 分	事業内容	派遣数
関東ブロック予選会	第 24 回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ 2025」関東ブロック予選会 関東各地（千葉県、茨城県、神奈川県、山梨県、東京都） 令和 7 年 4 月 27 日～6 月 8 日	136 人
全国障害者スポーツ大会	第 24 回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ 2025」 滋賀県 令和 7 年 10 月 25 日～10 月 27 日	63

（９）スポーツ施設の管理・整備

決算額 858,361 千円

①スポーツ振興課所管の次の施設について、県民が安全かつ良好に使用できるよう、指定管理者による管理運営を行った。

区 分	指定管理者	管理費用	利用人数	使用料収入
ALSOK ぐんま総合スポーツセンター	(公財)群馬県スポーツ協会	231,000 千円	573,399 人	78,286 千円 (利用料金制)
高崎健康福祉大学伊香保リンク	(公財)群馬県スポーツ協会	130,091	87,284	17,525
ライフル射撃場	群馬県ライフル射撃協会	2,850	563	273

区 分	指定管理者	管理費用	利用人数	使用料収入
ふれあいスポーツ プラザ	(社福)群馬県社 会福祉事業団及 び群馬県ビルメ ンテナンス協同 組合の共同体	131,672 千円	81,938 人	4,205 千円
ゆうあいピック 記念温水プール	(社福)群馬県社 会福祉事業団	69,890	28,061	2,854

②スポーツ振興課所管施設において、経年劣化に伴う補修・修繕が必要となった施設・設備等について、その優先度に応じて計画的に修繕等を行った。

区 分	事業内容	事業費
需 用 費	・ ALSOK ぐんま武道館 柔道畳 (需用費以外の諸経費含む) ・ ゆうあいプールのろ過タンクの材交換修繕	13,013 千円
工 事 費	・ ALSOK ぐんま総合スポーツセンターイベント駐車 場再整備工事 (令和 6 年度から一部繰越) ・ ALSOK ぐんまアリーナ音響設備改修工事	154,993
備 品 費	・ ALSOK ぐんまアリーナ バスケットゴール、体操ゆか用カーペット、新体 操用マット、トランポリン	37,279
計		205,285

6 湯けむり国スポ・全スポぐんま準備費

(1) 湯けむり国スポ・全スポぐんま開催準備 決算額 46,914 千円

令和 11 年に群馬県で開催する湯けむり国スポ・全スポぐんまに向けて、「第 83 回国民スポーツ大会・第 28 回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会」に対し負担金を支出し、広報啓発、会場地市町村の選定、中央競技団体の正規視察受入れ、役員養成、マスコットキャラクターの決定や公式ホームページの立上、情報支援ボランティア養成、全スポ競技会場バリアフリー調査等を行うなど、準備委員会の運営を支援した。

(2) 大会基金積立 決算額 1,518,228 千円

湯けむり国スポ・全スポぐんまの財源に充てるため、基金の積立てを行った (令和 7 年度末基金現在高 5,533,223 千円)。

(3) 施設整備 決算額 129,270 千円

湯けむり国スポ・全スポぐんまの開催に向け、県有施設の改修を行った。

また、市町村所有の競技施設については、競技施設基準への適合や中央競技団体からの指摘に対応するための整備に対し補助金を交付した。

①市町村有競技別拠点スポーツ施設整備事業補助金

区 分	補助先	整備内容	事業費
一般競技 (補助率 1/2)	前橋市	ヤマト市民体育館 ・ 床改修工事	千円 561
	伊勢崎市	アイオーしんきん伊勢崎アリーナ ・ アリーナ空調整備工事 ・ LED 照明化工事	25,784 8,567
		伊勢崎市ソフトボール場 ・ LED 照明化工事	16,060
	館林市	ダノン城沼アリーナ ・ エレベーター設置工事 ・ LED 照明化工事	13,546 37,599
	藤岡市	庚申山総合公園サッカー場 ・ 芝張替設計委託	7,408
	大泉町	いずみ総合公園ワカキヤ大泉町民 野球場 ・ 球場改修設計委託	3,157
特殊競技 (補助率 10/10)	東吾妻町	吾妻川特設カヌー競技場 ・ 基本設計委託	7,458
計			120,140

②県有施設整備

区 分	事業内容	事業費
工 事 費	群馬県馬事公苑・馬場柵設置工事	千円 9,130